

心身の健康を目指すアシックスの取り組みについて -ASICS HEALTH CARE CHECK-

株式会社アシックス 事業推進統括部 インキュベーション部

勝 真理

2022/12/2

創業者の思いが社名ASICSの由来となっている

創業哲学

健全な身体に健全な精神があれかし
Anima Sana In Corpore Sano



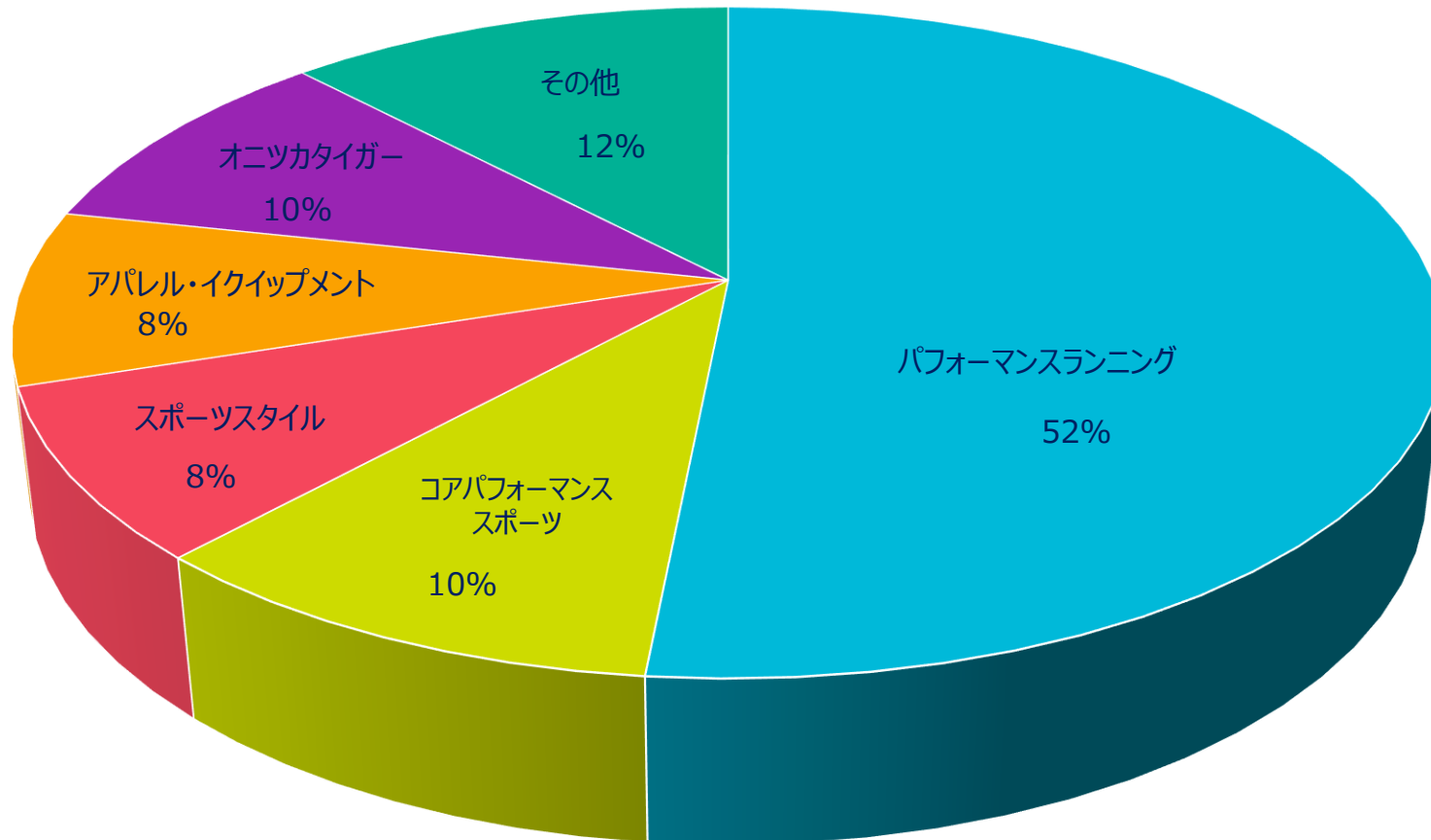
創業者 鬼塚喜八郎

鬼塚喜八郎は、戦後の青少年が進むべき道を失っていた時代、「若者に夢を与えることができる事業を興したい」という想いを抱いていた。時を同じくして、ユベリナスの名句「Anima Sana In Corpore Sano（日本語訳：健全なる身体に健全なる精神があれかし 英語訳：A Sound Mind in a Sound Body）」に出会い、感銘を受ける。

スポーツは心身をバランスよく育むことができると気付き、青少年の健全な育成に貢献できるスポーツに、人生を捧げることを決意した。

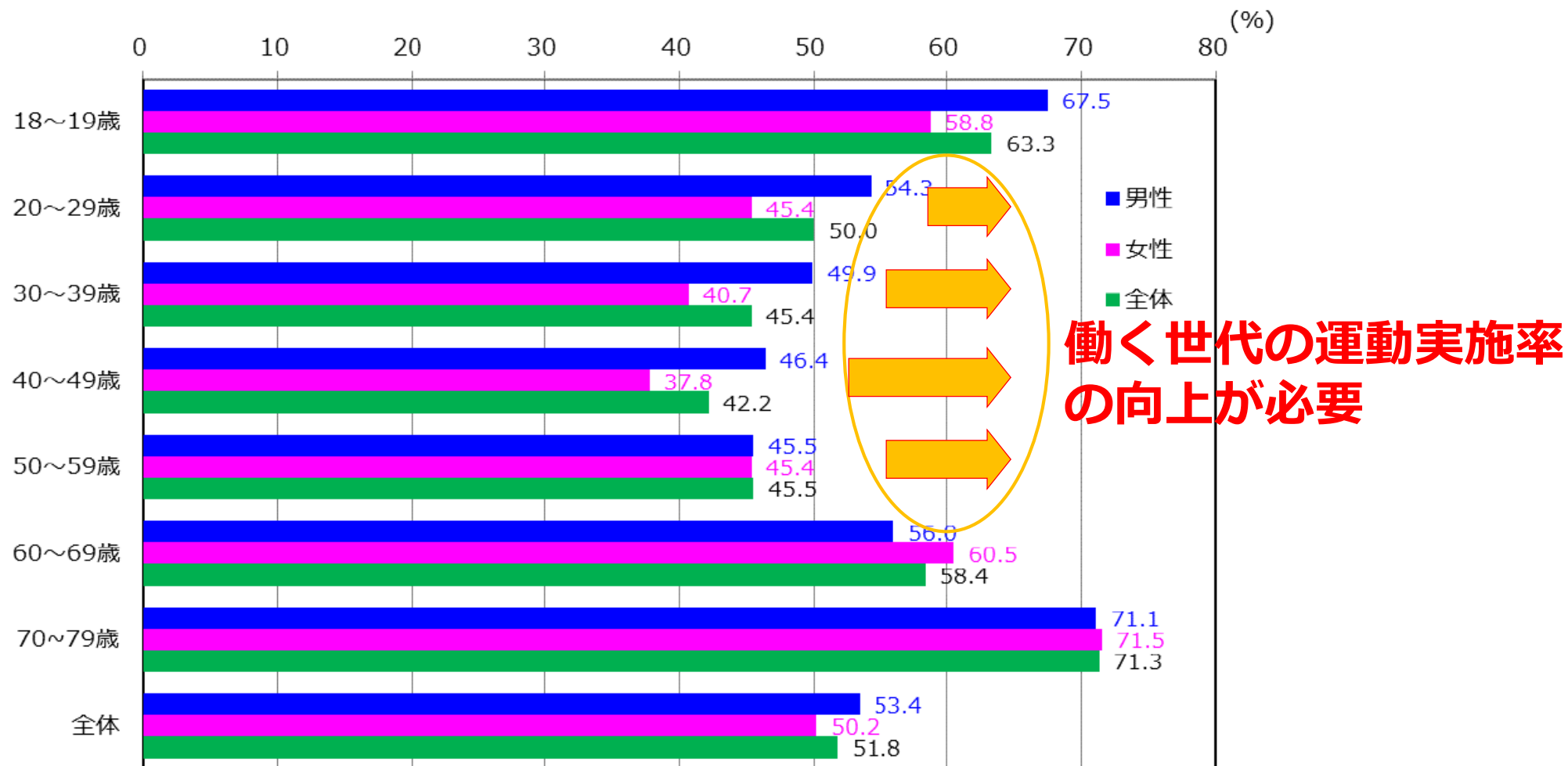
カテゴリー別売上高

売上高 4,040億（2021年12月31日時点）



取組みの背景

働く世代の運動実施率が低迷



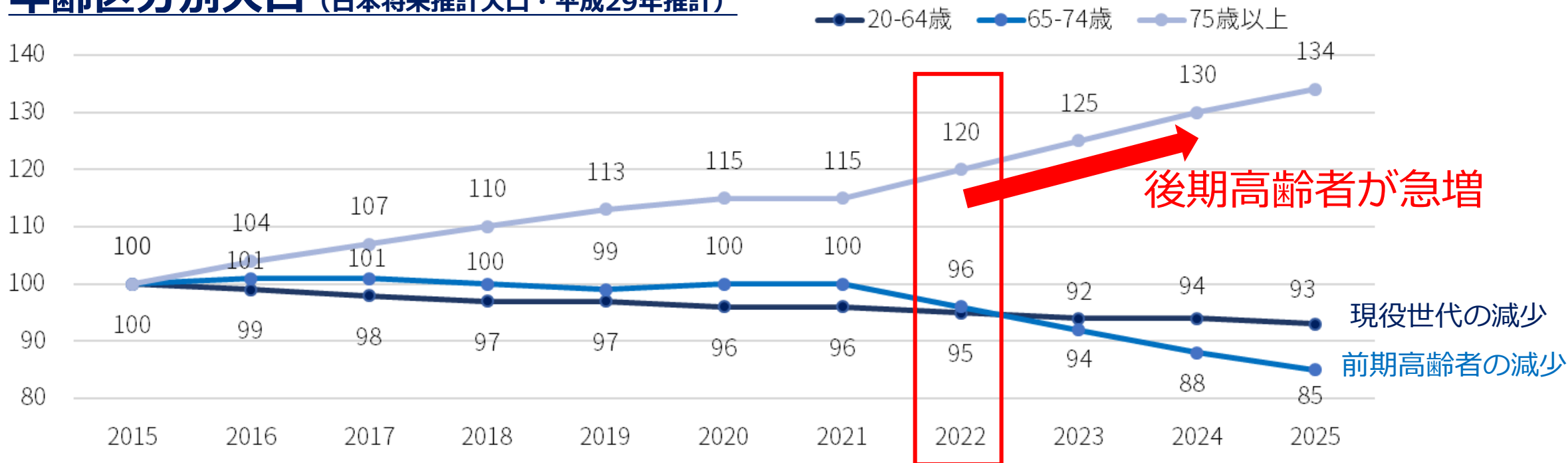
取組みの背景

2022年から後期高齢者が急増（2025年度問題は、2022年から始まる）。

2025年には、国民の4人に1人が75歳以上になると予想される。

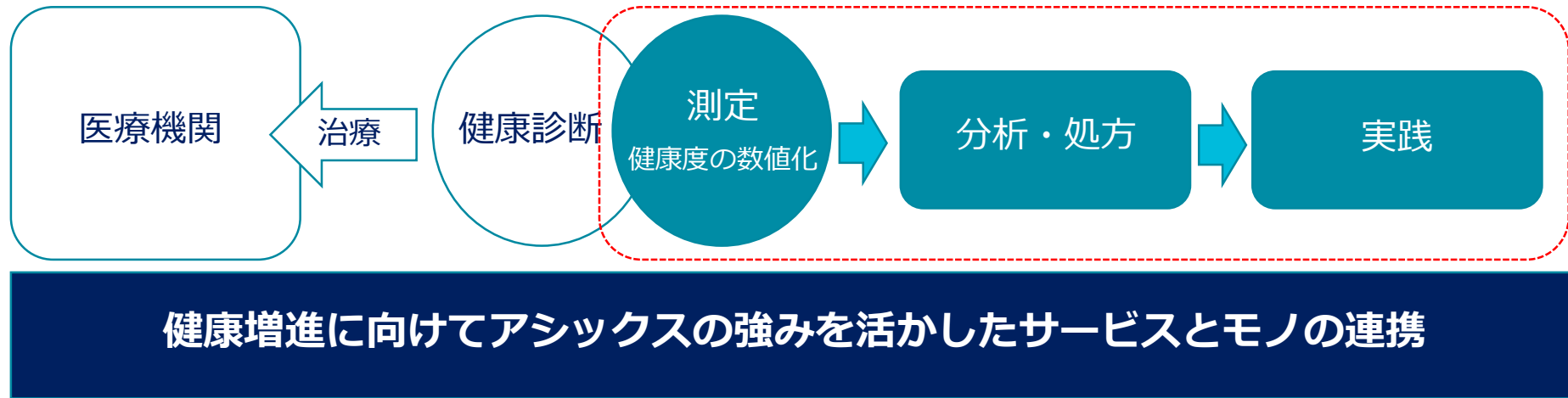
現役世代の減少により人材不足が顕著化し、人材確保（高齢者の雇用含）が経営にとって重要課題となる

年齢区分別人口（日本将来推計人口・平成29年推計）



取組みの背景

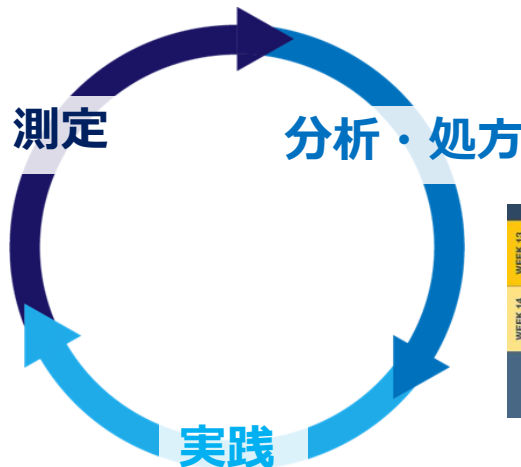
予防の観点で、「アタマ」「カラダ」「ココロ」の健康増進を総合的にサポート（健康意識向上、生活習慣病対策、メンタルヘルス対策、認知症対策など）し、理想的な健康生活のサイクルを提供する。



・健康度の数値化



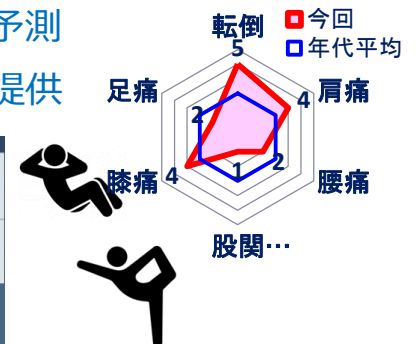
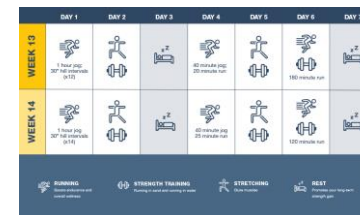
・インセンティブ運営
・運動管理



・将来の非健康状態になるまでの余命

や疼痛危険率を予測

・健康増進プラン提供



ASICS HEALTH CARE CHECK

心身の健康状態の測定、将来の健康寿命の予測および健康増進プランを提供する健康増進プログラム

2019年開発・2020年1月～事業開始

1. 現在の健康度を評価

「歩行能力」を中心に「体組成」「体力」「ストレス」「認知機能」の5つの要素を計測し、10段階で評価。さらに各項目の結果を基に、

「歩行年齢」「体力年齢」「脳活年齢」、それらを統合した総合健康指数である「健全年齢」を当社の特許出願技術を利用した独自アルゴリズムで算出

2. 将来の健康寿命を予測

「歩行年齢」「体力年齢」「脳活年齢」を基に将来の非健康状態になるまでの期間や転倒・疼痛リスクを独自アルゴリズムで予測

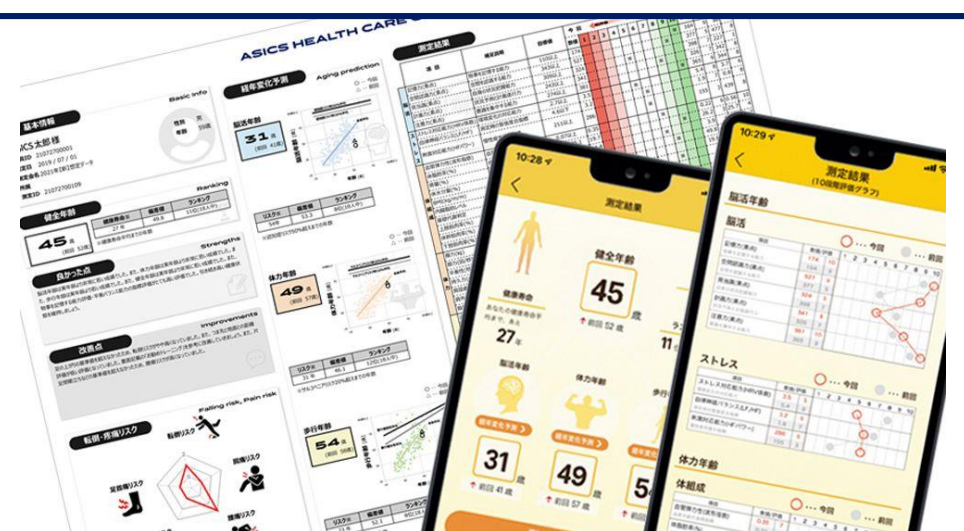
3. 健康増進プランの提示

測定した健康指数を基に、無理なく継続可能な個別の健康増進プラン（筋力トレーニング、ストレッチ、ウォーキングドリルなど）をスマホアプリ等を通じて提供

測定の様子



専用アプリで結果表示・おすすめのトレーニングを実践



ASICS HEALTH CARE CHECK

測定項目

アシックスヘルスケアチェックは、「健全度」を評価するにあたり、「歩行能力」「体組成」「体力」「ストレス」「認知機能」の5つの要素を7つの項目に分けて測定。

静的測定項目（約15分）



ストレス

加速度脈波測定



体組成

体組成測定

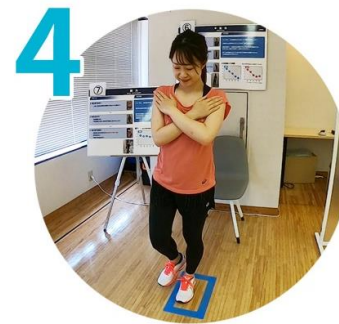


認知機能

認知能力テスト

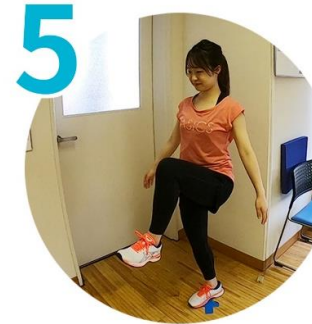


動静的測定項目（約10分）



筋力・平衡性

握力・脚力・平衡性測定



関節可動域

肩・股関節 柔軟性測定



問診（約2分）

※事前実施となります



約 30分で
測定完了



アプリで結果を確認

※測定終了後、1～2日後に
メールで結果をご連絡
させていただきます。



結果確認

ASICS HEALTH CARE CHECK

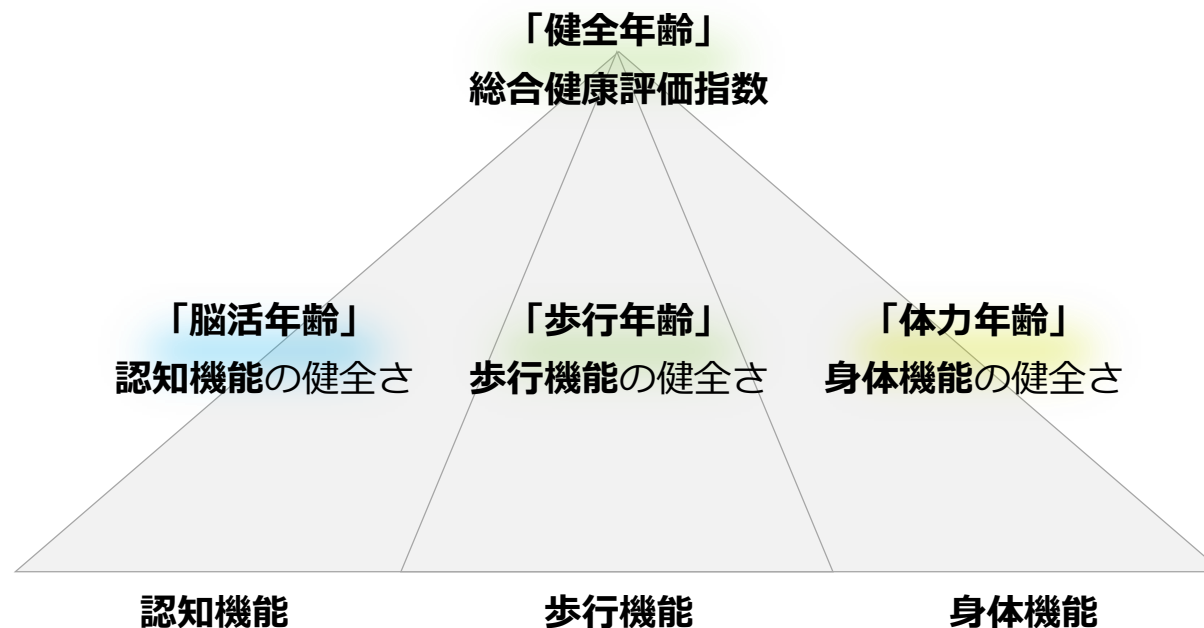
- ・健康とQOL（生活の質）は密接に関係している。
- ・QOL（生活の質）は、歩行能力などの活動量と高い相関がある。



歩行能力は健康において非常に重要。

日本規格協会規格（JSA-S1006）「歩行機能を基軸とするデータベースを活用した健全年齢の求め方」

※取り組みの客観性や透明性、公平性を確保できるとともに、汎用性の高い内容にする



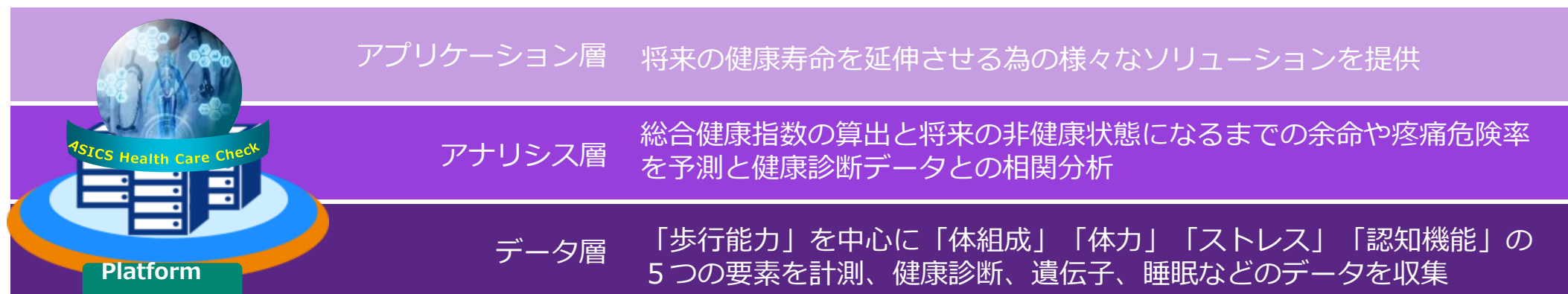
10

ヘルスケア関連データの利活用

AHCC事業で収集できるデータと様々なデータを利用して、顧客に適切な形でデータやソリューションを提供することで顧客に価値を届ける。

- ・ウェルネスデータを掛け合わせて統合的に解析したデータを活用して、ダイレクトなサービスおよび顧客体験の場を提供
- ・蓄積されたデータや保有コンテンツを活用したビジネスマッチング

健康関連データプラットフォームの構築がキーファクター



ヘルスケア関連データの利活用



ASICS HEALTH CARE CHECK 【計測サービス】

累計 **7000** 名超の蓄積データ (2022年5月現在)

1 最大36項目の 定量的な計測結果 10段階判定評価



2 ASICS独自の総合評価指標 “**健全年齢**”評価 (+脳活年齢・体力年齢・歩行年齢)

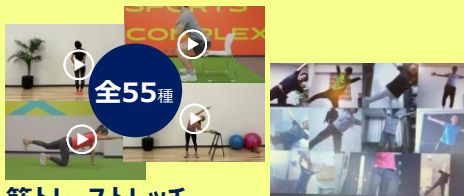
3 実際の疼痛履歴とリンクした **疼痛リスク判定** (肩痛、腰痛、股痛、足首痛、転倒)



ASICS WELLNESS CONSULTANT 【スマホアプリ】

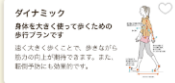
日々の**アプリ利用ログ**データ (アプリ利用率、トレーニング実施率など)

1 測定結果に基づいた **トレーニング処方**



筋トレ・ストレッチ
・動きのドリル (動画)

オンラインフィットネス
(LIVE型)



ウォーキングプラン

2 楽しく運動を続けられる **アプリ内ランキング・ポイント**



・全国ランキング
・会社内ランキング
(トレーニング回数/ポイント数)

健康経営
担当者様



導入企業の要望に合わせたデータ提供が可能

- ・従業員様個人のデータ、会社単位のデータ
- ・累計蓄積データとの比較
- ・去年のデータとの比較
- ・目標値との比較
- ・アプリ利用率、トレーニング実施率
- ・その他両データを組み合わせて、ご要望の疑問点に対する回答
- ・自社でお持ちのデータと組み合わせた分析結果 …など



従業員様
が利用

会議でのご説明 FB資料のお返し



THANK YOU

